



平成 11 年 5 月 25 日
日本原子力発電株式会社

東海第二発電所 低圧炉心スプレイ系注入弁の弁棒折損について

当社、東海第二発電所（沸騰水型軽水炉；電気出力 110 万キロワット）は、本年 4 月 4 日より第 17 回定期検査を実施しておりますが、低圧炉心スプレイ系注入弁のグラウンド（弁棒封水部）パッキン交換後の作動試験において、当該弁の弁棒（弁を開閉させる棒）の動作に不具合が認められたため分解点検を行ったところ、弁棒が折損していることが認められました。

このため、折損原因について詳細点検を行うこととしました。

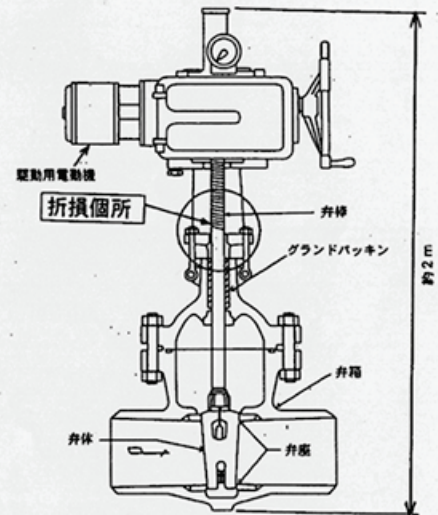
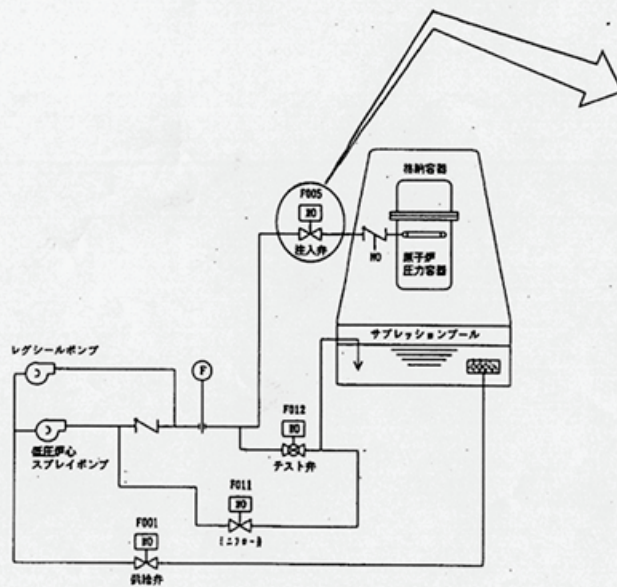
なお、本事象による外部への放射能の影響はありません。

また、資源エネルギー庁による国際原子力事象評価尺度（INES）暫定評価では、レベル 0 とされています。

以上

添付資料 1 低圧炉心スプレイ系 系統図

低圧炉心スプレイ系 系統図



低圧炉心スプレイ系注入弁(F005)